

ROSTER

PLAYERS



出身校 駿台学園 身長 学部 環境情報学部 最高到達点 326cm

学部

2年 OP 2 松本 喜輝

出身校 九州産業

環境情報学部

身長 186cm

最高到達点 340cm

出身校 慶應義塾 学部 商学部

KEIO

1年 OP 3 渡邊 大昭 Hiroaki Watanabe

身長 189cm 最高到達点 335cm



出身校 松本県ヶ丘 身長 学部 総合政策学部

190cm

最高到達点 328cm



出身校 慶應義塾 学部 経済学部 身長 181cm 最高到達点 325cm



出身校 高松 身長 166cm

学部 総合政策学部 最高到達点 290cm



出身校 札幌北 身長 196cm 学部 環境情報学部 最高到達点 335cm



出身校 慶應義塾 身長 191cm 学部 商学部 最高到達点 340cm



出身校 清風 身長 177cm 学部 総合政策学部 最高到達点 312cm



出身校 慶應義塾 身長 185cm 学部 法学部政治学科 最高到達点 325cm

1年WS 12 内田 克弥 Katsuya Uchida

出身校 松江高専 180cm 身長 学部 環境情報学部 最高到達点 320cm



出身校 慶應義塾 身長 192cm 学部 商学部 最高到達点 328cm



出身校 洲本 身長 198cm 環境情報学部 最高到達点 335cm



出身校 慶應義塾 身長 173cm 学部 経済学部 最高到達点 321cm



出身校 慶應義塾 身長 180cm 学部 経済学部 最高到達点 310cm



出身校 徳島城東 身長 180cm 学部 環境情報学部 最高到達点 307cm



出身校慶應SFC身長190cm学部経済学部最高到達点325cm



出身校 山口 身長 184cm 学部 法学部政治学科 最高到達点 310cm



 出身校
 慶應義塾
 身長
 179cm

 学部
 商学部
 最高到達点
 315cm

STUDENT STAFF



出身校 東洋 身長 173cm 学部 文学部



出身校 慶應NY 身長 151cm 学部 法学部法律学科



 出身校
 慶應NY
 身長
 151cm

 学部
 法学部法律学科



出身校 学習院女子 身長 168cm 学部 文学部



出身校 慶應義塾 身長 171cm 学部 商学部



出身校 慶應女子 身長 161cm 学部 経済学部



 出身校
 慶應SFC
 身長
 156cm

 学部
 商学部



出身校 慶應義塾 身長 170cm 学部 法学部法律学科



出身校 慶應義塾 身長 174cm 学部 経済学部



出身校 慶應義塾

身長

170cm

学部 文学部

COACHING STAFF

部長 和田 龍磨 Tatsuma Wada

出身校 慶應義塾大学

所属 総合政策学部教授

総監督 宗雲 健司 Kenji Sougumo

出身校 日本体育大学

所属 慶應義塾高校教諭

監督 **星谷 健太朗** Kentaro Hoshiya

出身校 慶應義塾大学

所属 サントリー勤務

コーチ **池野谷輝** Hikaru Ikenoya

出身校 慶應義塾大学

所属 森ビル勤務

チームドクター 鈴木 陽太 Yota Suzuki

出身校 慶應義塾大学

所属 University of Texas Medical Branch

アドバイザー 脇 奈津子 Natsuko Waki

出身校 慶應義塾

所属 サントリー勤務

^{管理栄養士} 大村 恵利

Eri Ohmura

出身校 --

所属 横浜国立大学教諭

メンタルトレーナー **辻 秀一** Shuichi Tuji

出身校 北海道大学

所属 株式会社エミネクロス

四年生特集

秋リーグで期待すること

Q1.
四年間で印象に残っていることQ2.
四年間で成長したと思うところQ3.Q4.

四年間を共に過ごしお互いのことを知り尽くした仲間として、同期への思いを語ってもらいました!



バレー部で発揮している持ち味

Q1.

2年の時の長野合宿で脱水症状になり、救急車で病院に運ばれたにも関わらず、その日の夜帰ってきてホテルのロビーで弁当をガツガツ食べていたこと。(多すぎて書けません、みんなの記憶に残る出来事を一番多く作ってくれてい

Q2.

実顔が増えたところ

Q3.

打ち屋、ミーティング時の核心をつく一言、谷(総4)の相方 O4

スパイク、とにかく相手のブロックを壊して欲しい



Q1. 1年生の頃怒られた事

Q2. バックアタックの威力とサーブレシーブの成功率

> Q3. まとめ役と躊躇ない発言

Q4. 勝負どころでのスパイク、ブロック



濱本・小出





四年生たちの思い出の写真を成長させてみました!

Q1. Q2. Q3. Q4. 四年間で印象に残っていること 四年間で成長したと思うところ バレー部で発揮している持ち味 秋リーグで期待すること

#5宮川 #24濱本





Q1. アナリストになったこと アナリストになってからの方がバレーうまくなったこと アナリストになってからも遅くまで残って自主練習していること 定期的に泊まりに来て、遅くまで語ったこと

Q2. バレーボールへの愛情 頑張っている人を応援する心 Q3.

よく人間を見ていること 誰にでも意見できること 会話のテンポと返答のスピード Q4.

ベンチワークと直感

#24濱本







選手に復帰した事 Q2. メンタル面で大幅成長。 自分を律する能力が10倍へとメガ進化。 Q3.

Q1.

周囲を巻き込んでポジティブな力を発揮する所 04.

プレー面も応援面も別々に出来る彼だからこそ、 選手に対してあらゆる角度から刺激を与える言わば 絶滅危惧種的存在に成る事を期待しています。

#20松川





Q1. バレーボールサークルで一緒にプレーしていたこと、体育会 バレー部に2人で途中入部したことです。

Q2.

あんまり会えてないので具体的じゃないのですが、話してい て落ち着く存在です。

今年久しぶりに会った時も、軍司と喋って心が整いました。 Q3.

コツコツ、真面目。稀に見せる大胆さ。

Q4.

学連のお仕事いつもお疲れ様です。 的確な運営、この度も楽しみにしております!







加藤・永田

松川・加藤・永田 谷・軍司 勝呂・宮川







Q1.

Q2.

Q3.

Q4.

四年間で印象に残っていること 四年間で成長したと思うところ バレー部で発揮している持ち味 秋リーグで期待すること

#16軍司

#11勝呂





まだ塾バレーボール部に入部して間もない頃、勝呂がバレーボールを高校から始め たということに驚いたことをよく覚えています。

学年が上がるごとに、周りに対する気配りと責任感が増していると勝呂と接する中で感じています。大学1年時から同級生をまとめている存在ではありましたが、大学3年で副務になって以降は、彼がチームマネジメントなどの面において一段とチ ームのために責任感をもって活動している姿をよく目にする様になりました。自チ ームの勝利、自らの競技力向上のために活動する体育会という組織において、勝呂 のように「他の部員のために」尽力できる人材は欠かせないと感じさせられます。

本当にバレーボールが好きだということが1番の持ち味であり、勝呂の真面目な姿 勢はプレーにおいてはもちろん、普段の行動にも現れていると思います。

04

バレーボールに対するあくなき好奇心を発揮して、ミドルブロッカーとしてチーム の勝利に貢献してくれることを期待しています。毎年、高さを武器にブロック力、 スパイク力に磨きをかけている塾パレーボール部の中心プレーヤーとして、またチ ームスタッフのリーダーとしてもチームを引っ張ってもらいたいと思います。

#11勝呂

#1小出





Q1.

コロナ禍の「おうち時間」企画でピコ太郎になりきった完成度の高い コスプレを披露してくれたこと。

バックアタック、リーダーシップ力

攻守においてチーム随一の安定感

Q4.

キャプテンとして率いる初陣として技術面は勿論のこと、精神面でも チームの柱として活躍が期待される。

#1小出

涉外主務 高橋





Q1.

最初に練習に来た時と今とのギャップ

ボールが遠くまで投げられるようになった。

下級生が仕事ができるようマネジメントしてくれている。

04.

部の引き締め役として、最後までチームがうまく回るよう マネジメントしてもらえると助かります。







高橋・永田 勝呂・宮川

宮川・永田 松川・勝呂







Q1. Q2. Q3. Q4.

四年間で印象に残っていること 四年間で成長したと思うところ バレー部で発揮している持ち味 秋リーグで期待すること

渉外主務 高橋



#26谷



2019年の早慶戦において、新設の早稲田アリーナで谷自身がプレーしている 姿、スパイクの選手をはじめとするチームメイトと喜んでいる姿にとても嬉し くなりました。 4年間で成長したと思うところの項目でも記載した笑顔やお礼 という点はここが分岐だったように感じています。

Q2.

他の部員に対しても私自身に対しても「ありがとう!」「サンキュー!」とお 礼を伝えている事や笑顔が増えました。同じセッター務めている高倉・大槻と トス練習をしている姿も見掛けられるように練習外での自主練を積極的にする ようになったと感じています!

Q3.

多方面での柔軟性です!どんなボールでもスパイカーに対してアシストしてく れるトスワーク、レシーバーを揺さぶるサーブ、そしていじられ役且ついじり 役でもあるキャラクターなど!

Q4.

初めて公式戦に参加する後輩も多いと思うので、日頃の練習中のように後輩に 屈託のない笑顔で話しかける事で緊張をほぐしてあげてください!

#26谷 #7永田

同期を繋げてくれているのは彼です。 入部してすぐに馴染めてない子がいた時に スキーに行って仲良くなりコミュニケーションをとっていた事。

心。一年生の時とは比べ物にならないくらい強メンタル。

Q3.

部員全員からの信頼が厚いです。

普段は部員皆のお手本として部に貢献し、

時にはいじられ役として部の雰囲気を盛り上げてくれています。

彼の正確なサーブレシーブと粘り強いディグに期待したい。 またチームの血液として常にチームを正常に動かして頂きたい。







谷・軍司



主将×副将×アナリスト座談会

小出捺暉(環4) 永田将吾(総4) 濱本健人(商4)

Team2021にとって初めての公式戦である秋季リーグ戦がいよいよ開幕する。 今回は、1年次からコートに立ち続けてきた小出捺暉主将(環4)、永田将吾副将(総4)、 アナリストとしてチームを支える濱本健人(商4)、3人による座談会をお届けします。 今年の慶應バレー部の中核を担う彼らに、今季に向けた意気込みをお聞きしました。ぜひご一読ください。



主将・副将・アナリストという立場になって、 お互いの姿はどう映っているか

永田 副将の僕から見ると、捺暉は練習でも、メニューの前ごとに集めて、「ここは意識してほしい」とか、「これだけはやらなきゃいけない」とかを喋ってくれていて。下級生とかまだまだ大学の練習に慣れてない子たちにも、どういう意図を持って練習すればいいのかというのが分かって、いい練習になっているなと思います。

練習外の部分で言うと、今年から監督が星谷さんになって、 普段はお仕事をされているので、なかなか平日は練習に来れ ないという状況のなかで、指導者と選手が考えていることの 乖離をなくすために毎日時間を決めて星谷さんと捺暉が電話 をしてくれていて。これに関しては星谷さんも捺暉もチーム のためにそこまで動いてくれる人というのが選手のトップ、 チームのトップにいるっていうのはすごくチーム全体にとっ ていいことだなと思います。

健人は、アナリストのトップとして、今年は選手が作戦を立てるというよりは、アナリストが立てた作戦を選手がいかに100%実行できるかをテーマ立ててやっていて。それだけアナリストが提示する作戦に試合の勝敗が関係していて、

なかなか重大なポジションのなかで的確な指示を出してくれていて。紅白戦(ABチーム戦)をするときはBチーム側について僕らの弱点を徹底的に突いているからこそ、こっちからするとやりにくいなと感じるので、<u>健人が味方にいるというのは頼もしいなと思っています。</u>二人がコートの内と外で重要な役割を果たしてくれているので、僕は本当にすることがないなと。

資本 じゃあ僕いこうかな。捺暉は主将として、今まで先輩たち含め3人見てきたけど、明らかに一人だけスタイルが違う主将像というのは確かで。そのなかで何が一番違うかなって思った時に、主将って自分で全部やろうっていう傾向の人が多くて。主将だけじゃなくてリーダーってそうなりがちなんですけど、捺暉のすごい所はそこを勇気をもって人に任せられる所だと思ってます。前に捺暉が自分ではできない所は将吾に任せてるんでと言っていたんですけど、それって主将という立場についていて、普通じゃできないことだと思っていて。自分のできない部分を人に任せて、最終的にチームとして最大幸福を得るっていうスタイルは、主将像として素晴らしいなと思っています。まとめるという面では。うーん、そうだなぁ、、(笑)

永田 まとめてない、実は、、? (笑)

濱本 捺暉は無意識にまとめているタイプなので。あえて主 将らしくなく振舞っていて、バカやるところはバカやるし、 締める所は締めるしという所があって、ある意味親しみやす い主将像を作り上げているのかなと思いますね。



将吾はチームをよく見ているなと思います。捺暉はチームの中にいる人で、将吾は俯瞰して見ているタイプなので、部内の人間関係であったり、バレー面であったり、問題点を見つけるスピードが早くて。かつ的確な処置をしてくれていることで問題が生じる前に最初に火を消してくれてるっていうのが将吾ですね。部を円滑に、なおかつ、捺暉がどうやったら進めやすいかを考えているような気がしていて、<u>捺暉が上手く進めている裏には、将吾が見えない所で手回ししてくれている部分は大きいんだろうなと思ってます。</u>小さいなりに動き回って色々やってるんじゃないですかね(笑)

小出 将吾に関しては健人が言ってくれた通りなので。それ で終わりってことで(笑)

永田 なんもないの?(笑)

小出 まぁ将吾はどんなときでもやっぱりチーム全体をみていて、たぶんチームのなかでストレスを抱えている人が見えるタイプで。そういう人がいかにチームに馴染めるかというのを常に考えてくれているからこそ、自分たちは自由にやっていても、上手く回っているのかなと思っていて、<u>本当に縁</u>の下の力持ちだなと感じますね。

永田 あざっす (笑)

小出 健人はアナリストとして、すごく心強くて。去年から 僕としては、アナリストがチームに指示を出すようなチーム を目指していたというか、それがベストなんじゃないかと思っていて。コートのなかに入っている選手は、リアルで相手 の強さとかは分かるけど、全体が見えないというか。スパイクのコースはどこが多いとかは感覚でしかなくて。アナリストがせっかくデータを打っているのに、試合前のミーティングだけで、そのデータが終わってしまっているという何とももったいないことを慶應はしていたので。去年まではチーム内で、実際にプレーしている人の情報が正しいみたいな感じで、バラバラしたというか、自分が考えていることをやってしまう場面が多いチームだったんですけど。今年は健人がアナリストとして、やって欲しいって言ったことを全てやって くれるというか、指示を出して欲しい所で出してくれますし、それはしっかりデータに基づいていて。僕自身がコートから出ることはあんまりないんですけど、リベロやミドルが出た時に、しっかりとした情報を持ち帰ってくれて、なおかつデータだけでみた答えだけじゃなくて、相手の状況とかにも気づいて、戦略を立てて、相手のセッターがどういう状況だからこういうブロックを貼るとかまで考えて、戦略を立てて指示を出してくれるので。今後もうそれができるアナリストがいるのかっていうぐらいに、今年は考えてできるアナリストがいてよかったなという感じですね。

濱本 持ち上げるね (笑)

――「家族のようなチーム」という目標を掲げていま したが、現在のチーム状況は?

濱本 「家族のようなチーム」というのは出来てるんじゃないのかなって思うよね。

永田 <u>そうだね。関係性というか。下級生でも上級生に対して言いたいことが言えるし、</u>そういう意味で人間関係の面で家族のようなチームというのはいい感じだと思う。どう主将的には?(笑)

小出 主将的にもそう思うね(笑)あと90日ぐらいで自分たちが引退するというなかで、日に日に寂しくなるなって感じていて。

資本 それは俺も一緒だわ。早く引退できるじゃなくて、あ と何日でみんなとバレーボールできるのが終わっちゃうって 思う。

小出 後輩たちがどう思っているかは分からないですけど、あと3か月くらいというなかで自主練とかも残ってやってますし、できるだけ同じ時間を共有したいって思いが強いのかなと思います。

永田 最近、体育館にいる時間長くなってるよね。明らか に。

濱本 コロナじゃなかったら、もっとみんなでご飯行ったり してたと思う。それができない分、体育館にいるしかないと いう(笑)

永田 僕らの代だけが残ってるんじゃなくて、ありがたいことに後輩も一緒になってサーブ打ってくれたり、スパイク打ってくれたり、嫌々付き合ってくれてる部分もあると思うんですけど、一緒に残っている後輩がいるってことは先輩としてはすごく嬉しいなって思いますし、それがもし今後、来年以降もプラスになってくれればいいなと思います。



濱本 残り3か月と少ないので、自分たちの出来る部分は 全うするのは当たり前なんですけど、最近は何か少しでも 後輩に、来年の代にいい影響を与えられるようなものを残 せればなと思って行動してますね。

――チームとしての目標、個人としての目標

永田 <u>チームとしては秋リーグで1部にしっかり上げて、</u>後輩たちが来年の春から1部で出来る環境を整えてあげたいなというのと。全カレもどうなるか分からないんですけど、もしあるのであれば、僕は1部をしっかり何個も倒していって、最後メダルでも貰って終わりたいなと思っていて。もちろん日本一というのはそうなんですけど、この4年間何かをもらった記憶がないので、大学バレー1つぐらい形になるものを貰って終わりたいなと思っています。そのために一戦一戦やりたいなというのがチームとしての目標です。

個人としては、秋リーグどうなるか分からないですが、もし個人賞みたいなものがあるのであれば、<u>リベロ賞とサーブレシーブ賞の二つは取ろうと思っています。チームが勝つっていうのは一番大事なんですけど、一番強いチームに一番いいリベロがいるなと言ってもらえるよう</u>に練習したいなと思ってます。

濱本 そんなこと言ってみたいわ(笑)<u>秋リーグでの目標は、やっぱり1部昇格です。</u>僕たちは昇格しても、1部でバレーできることはないんですけど、後輩たちに1部でバレーしてもらって、慶應バレー部が1部でバレーし続けるべきだと僕は思っているので、その礎になってくれればと思っています。

個人としては、チームが勝つことがアナリストとして報われることだと思うので、チームが勝つのは最低条件としつつ、色んな選手を起用してもらって、さらに色んな選手が活躍して、秋リーグが終わった段階で、全員が成長できたなと思えるようなバレーボールをできるように、サポートできればなと思ってます。あと今アナリストの後輩が3名いるので、今でも十分優秀なんですけど、来年以降任せられるように残せるものは残したいなと思います。



小出 チームの目標は二人が言ってくれた通りですね。2 部にいるのではなくて、後輩たちには1部でプレーして欲しいです。正直1部のバレーはレベルが高くて、高校生でどれだけ頑張ってやっていても、味わえないような質の高いバレーをしていて、そういった所で揉まれたらチームと

しても成長していけると思うので、そういう舞台で戦ってほ しいので、1部昇格が目標です。全カレは日本一が目標です ね。できるだけこのチームで戦いたいなという思いはもちろ ん強くて、一番長く戦えるのは決勝まで行くことだと思うの で、あわよくば決勝も勝って、金色のメダルをもらいたいで す。

個人としては、<u>みんなにこのチームでよかったって思ってもらえるチームにすることが目標です。</u>僕自身はこのチームでよかったと思っているんですけど、でもチームメイトの中では、試合で結果を残すことであったり、1部に上がることもそうですけど、そういったことを目標としている人もいると思いますし、家族のようなチームっていうのも大事なんですけど、それ以上にスポーツをやる意義として、試合に勝つことが大事だと思うので。<u>勝った時の喜びをみんなで共有できたら一番それが幸せな瞬間だと思います。</u>だからこそ思い入れのあるチームで大事な試合を勝って、その喜びを共有していきたいですし、そういったチームになることが個人の目標です。



―最後に意気込みをお願いします。

濱本 じゃあ将吾からで。短めに。

永田 日本一とります!

濱本 このチームは良いチームだと僕ら全員は分かってるんですけど、それをもっと記録に残る必要があると思うので。

<u>多くの方の記憶にも残せるように慶應のバレーっていうのを</u> 展開したいと思います。

永田 ずるいずるい。そんなに喋っていいの(笑)

小出 意気込みは「今ここ、自分」ですね。<u>やるべきことは常に今やると思うので、その一瞬一瞬を100%で生きること</u>が秋リーグの昇格とかに繋がると思うので、将来のことを言ってもしょうがないので、今この瞬間からみんなで頑張っていきたいと思います。

—ありがとうございました!

インタビュー全文は慶應スポーツ新聞会ホームページにて ご覧いただけます。下記QRコードを読み取り、 ぜひご覧ください!



新入生特集

Freshman Interview

新入部員への5つの質問

- 01.入部した理由やきっかけは?
- 02.4年間での目標を教えてください!
- 03.憧れの先輩はいますか?
- 04.ここを見て!チームで活かしたい自分の武器
- 05.下級生から見た今年のチームはどんな印象?





渡邊 大昭(商1)

A1. (島田)航希さん(経2)に「大学で日本一を取ろう」と言われ、高校3年間の悔しさを大学で晴らしたいと思ったので入部しました!

A2. 航希さんと共にコートに立ってチームの目標である日本一を取ること

A3. 航希さん

A4. サーブとスパイクを活かしたいです!

A5. 仲がよく、言いたいことを言い合えるチーム

内田 克弥(環1)

A1.中国新人大会で優勝して、高専の先生から大学の話を いただいて、慶應を目指して入部しました。

A2.スタメンに入って関東一部に上がり、日本一になることです!

A3.柳田将洋先輩(H26卒)

A4.キレのある助走からのスパイクに注目して欲しいです!

A5.関東一部に上がることができるチーム





芳賀 祐介(環1)

A1. 文武両道を実践している大学チームでバレーボールを したかったからです!

A2. 存在感のあるプレイヤーになること

A3. 学年の仲が良い4年生

A4. 雰囲気作りが得意なのと身長が武器です!

A5. メリハリがしっかりとしたチーム

田鹿 陽大(法1)

A1. 自分にはバレーボールしかないと思ったからです!

A2. チームを一部に導くこと

A3. 樋口太樹さん(経3)

A4.雰囲気作りが得意なのと身長が武器です!

A5.メリハリがしっかりとしたチーム



細野一真(経1)



A2. 自分の役割をしっかり果たすこと

A3. 濱本健人さん(商4)

A4. 仕事を堅実にこなしてみせます!

A5. 団結力のあるチーム



山本 昌岳(文1)

A1. 大学で何かを4年間継続したく、中学生から続けて いるバレーボール部に入部しました!

A2. チームの力に貢献し続けること

A3. 永田将吾さん(総4)

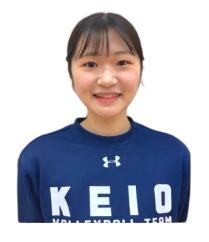
A4. 打ち屋として練習に貢献したいです!

A5. 先輩方が謙虚でいてくださるのでとても居心地が良

いチームです!



昨年秋に途中入部してくれた部員も併せてご紹介します!



三ツ井 梨々香(商2)

A1. 好きなスポーツを通じて、チームで日本一を目指したかったからです!

A2. 信頼されるトレーナーになること

A3. 濱本健人さん(商4)

A4. 自分のコミュニケーション能力の高さを生かしてい

きたいです!

A5. 仲の良さです!



第3回全日本ビーチバレーボールU-23男女選抜優勝大会 〈決勝トーナメント〉 優勝





2021年7月18日(日)開催のビーチバレーボール NEXT2021第3回全日本ビーチバレーボールU-23男女選抜 優勝大会において安達(環3)島田(経2)が優勝という過 去最高成績を残しました!!

昨年の全日本大学ビーチバレー選手権ベスト4という成績を励みに、日々インドアバレーの練習に加えて、ビーチバレーの練習に取り組んできました。チーム最高身長197cmを誇る安達と高校時代では春高バレー出場を掴み取った期待のルーキーである島田の最強ペアです。塾バレー部の練習にビーチバレーを取り入れるなどチーム一丸となって臨みました。 以下に、2人のコメントを掲載いたしましたのでぜひご一読ください。

安達龍一



Q1.全国優勝した感想

ずっと目標に掲げてきたことが達成できて、素直に嬉しいで す。

O2.昨年から新たに取り組んだ課題、成長した点

2人の時はいろんな状況を想定してひたすらトス練習をしました。お互いに一本目が崩れた時もしっかり攻撃につながるトスをあげられるようになったこと、その細かい連携が取れるようになったことが大きな変化だと思います。

Q3.ペアの島田について、頼りになると思うこと

決め方が多彩なので安定してサイドアウトを切れるところ、器 用で守備範囲が広いところなどいろいろありますが、一番はビ ーチバレーに興味を持って、全力で取り組んでくれることで す。

Q4.今後に向けて一言

ビーチでは大学選手権で2年連続4位止まりなので、最後となる来年は優勝を目指して、インドアでは秋リーグで一部昇格に 向けて、気持ちを一新して頑張ります。

01.全国優勝した感想

全国優勝したという実感はないんですけど、試合はとにかく楽しかったです。久しぶりの公式戦でしたが不安や重圧はなく、楽しんでプレーできました。本当にそれが、自分がバレーボールをやっている全てかなと感じました。また、練習に付き合ってくださり全力でバックアップして頂いた慶應バレー部の皆さんや指導して頂いた地域の方々には感謝しても仕切れません。最後に、自分達が優勝したことで、ビーチバレーという競技が慶應の関係者等色々な人に知ってもらえたらうれしいです。

O2.昨年から新たに取り組んだ課題、成長した点

風が吹く中でのセットやスパイクの打ち方、助走の入り方が昨年より成長した点だと思います。また、相手とのブロック、ディグの駆け引きが試合を重ねる中で上達したと思います。

Q3.ペアの安達について、信頼していること

学生では誰にも負けないブロックとスパイクの高さがあるので 自分は安心してレシーブに入れるし、セットも良い意味で適当 にあげられます。

Q4.今後に向けて一言

大学選手権では優勝できず悔しさが残るので来年こそは大学選 手権で優勝して、安達さんの首に金メダルをかけます。インド アバレーの方も日本一をとって二刀流で頑張ります。



島田航希









安達(環3)・島田(経2)

小出(環4)·永田(総4)

7/10(土) に開催された第28回関東大学ビーチバレーボール男女選手権大会 において、以上の3ペアが出場しました。

〈1回戦〉濱本・宮川ペア VS 市川・水島ペア(日本大学)

セットカウント0-2で本塾の負け

〈1回戦〉小出・永田ペア VS 武藤・池城ペア(日本体育大学)

セットカウント0-2で本塾の負け

〈2回戦〉安達・島田ペア VS 久木元・福井ペア (流通産業大学)

セットカウント2-0で本塾の勝ち

〈3回戦〉安達・島田ペア VS 富田・濱口ペア(日本体育大学)

セットカウント1-2で本塾の負け

試合結果は以上となっております。残念ながら翌日の決勝・準決勝には進むことができま せんでした。試合が開催されたことに感謝し、次の試合に向けて日々精進してまいりま す。今後とも塾バレー部へのご声援のほどよろしくお願いいたします。

